

麻生金融担当大臣の「守銭奴」発言をめぐって：内部留保をため込む企業の姿勢を表現

麻生金融担当相：賃上げ求める 利益蓄積は守銭奴

『毎日新聞』2015.01.06 東京朝刊 4頁

麻生太郎金融担当相は5日、東京都内で開かれた生命保険協会の新年賀詞交歓会であいさつし、企業が稼いだ利益を内部にため込むことを優先する姿勢を「**守銭奴**みたいなものだ」と例えて、利益を設備投資や従業員の賃上げに回すよう強く求めた。

安倍政権はデフレ脱却に向けて経済界に対し2015年春闘での賃上げを要請している。「守銭奴」とはお金をためることに執着する人を示す表現。

麻生氏は、企業内部に蓄積された内部留保が約328兆円まで増えていると指摘した上で、「それだけ金をためてどうするのか。（お金は）持った後は目的から手段に変わるのではないか」と語った。

麻生財務相：守銭奴発言を釈明「利益を賃上げに」

『毎日新聞』2015.01.07 東京朝刊 7頁

麻生太郎財務相は6日の閣議後の記者会見で、企業が内部留保を優先させる姿勢を「**守銭奴**」と表現した5日の自身の発言に関し「利益が出れば賃上げや配当、設備投資に回すのが望ましいという趣旨だ」と説明した。発言が適切かどうかを尋ねる質問に答えた。

麻生氏は「企業の内部留保の積み上げはデフレ不況と戦っている中で好ましいとは思えない」と強調した。

質を磨く（1）95兆円、上場会社の手元資金

『日本経済新聞』2015/02/03 朝刊 1ページ

上場会社には95兆円（金融除く）の手元資金がある。**利益をため込む企業**を副総理の麻生太郎（74）は「**守銭奴**」と批判したが、これが雪解けの音を立て始めた。キャノンも増配と自社株買いで14年12月期に3千億円超を株主へ返した。…以下略…

『株高呼ぶ資金「雪解け」——資本効率向上へ使う経営

日本経済新聞』2015/02/13 朝刊 20ページ

…途中略…

上場会社が資本効率を高めるため豊富な手元資金を使い始めた。90兆円を超える手元資金が雪解けを始め、自社株買いなど株主配分や成長のための企業買収へ向かう。麻生太郎副総理からつけられた「**守銭奴**」との汚名を返上する動きだ。経営者が自己資本利益率（ROE）への意識を高めており、資金をうまく使う企業を市場も高く評価している。